

ロジックスライン

車庫新設で業績拡大へ

刷新ロゴ入り新車披露

【千葉】ロジックスライン(沢田秀明社長、千葉県成田市)は3日、新設した車庫のお披露目を兼ね、リニューアルしたロゴマークを入れた新車の納車式を開いた。刷新したロゴマークは、流れるような書体で飛躍と成長していくイメージを表し、車体やエアフレクターにマーキングした。新車庫の開設により5千平方メートル超のヤードを確保したこ

とから、式典で、沢田社長は「増車を進め、2024年から更なる業績拡大を目指す」と述べた。

新車庫は国道51号に面する2300平方メートルの土地で、今年3月に取得。既設の面積2900平方メートルの第1車庫と道路を挟んで隣接している。重量物を積んだ車両が走行できるように、2層アスファルトで舗装した。

納車式では、UDトラックス(丸山浩二社長、埼玉県上尾市)の大型トラックを披露。荷台は新ロゴマークとともに番傘を大きくあしらひ、「和」をテーマにデザインした。沢田氏のこだわりで、リコーデジタルペインティング(岩本尚久社長、東京都町田市)のオートボディプリンターを使う京都のデザイン事務所に発注した。



ドライブレコーダーのカメラを、車体前後と運転席の左右ミラー部分に加え、キャブ内と荷室内にも計6

納車式で新人ドライバー(左)に新車の鍵のレプリカを手渡す沢田社長

台設置。事故時にドライバーだけでなく、荷物の安全確認を取れるよう配慮している。

納車式で、新車は6月に入社したばかりの新人ドライバーに預けられた。沢田氏は「この第1車庫と新車庫は、ともに国道からよく見える場所にある。デザイントラックに乗るドライバーも見られているという意識で、ハンドルを握って安全な運行を心掛けて欲しい」と呼び掛けた。(佐々木健)